

チョウセンキバナアツモリソウの概要

1. 分類

ラン目 ラン科

和名：チョウセンキバナアツモリソウ

学名：*Cypripedium guttatum*

絶滅危惧 I A類（環境省 第四次レッドリスト）



2. 形態的特徴及び生態学的特徴

冷温帯から亜高山帯までの草原や疎林内に生育する多年草草本。アラスカや中央シベリアなどの高緯度地域では標高1,000m付近から見られるが、ヒマラヤ・中国南西部などでは標高4,100m付近に生育している。

3. 分布状況

国内では秋田県内の灌木に囲まれた草地にのみ生育する。



4. 現在の生息個体数

109株を確認(H26(2014))。

5. 生息を脅かす要因

盗掘が最大の減少要因であったが近年は確認されていない。生育地内の植生等の変化。

6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- ・ H11(1999)年 大量盗掘を契機に生育地周囲に立入防止柵を設置（秋田県）
- ・ H14(2002)年 国内希少野生動植物種指定
- ・ H16(2004)年 保護増殖事業計画(農林水産省、環境省)策定
- ・ H16(2004)年より生育状況及び生育環境の調査開始
- ・ H23(2011)年 保護増殖事業アクションプラン策定
- ・ H23(2011)年 防護柵の外側に新たな防護柵を設置（東北森林管理局）
- ・ H24(2012)年より保護増殖事業アクションプランに基づく事業実施
- ・ H25(2013)年 自生地株のDNA解析を実施
- ・ H26(2014)年 種子を採取し新宿御苑で冷凍保存

7. 他法令等による保護の状況

生育地は自然公園法及び森林法により規制されている。